

日 程 第68回定期総会…2023年2月24日 [金] 書面による総会

標 語 今、共にキリストを証しするために～新たな『自立と協力』
～各個教会・地域が主体となる協力伝道へ～

聖 句 愛を身に着けなさい。愛はすべてを完成させるきずなです。(コロサイ3:14)

■ 新たな『自立と協力』の 第一歩をいっしょに

第68回総会議長
松坂有佳子 (八戸バプテスト教会)



第68回定期総会から加盟教会には「1つの教会に1つの議決権」が平等に与えられることになりました。在籍人数が多い教会も、数名で礼拝を守っている教会も、県内唯一の連盟の教会も、近隣教会がたくさんある教会も、何人ものスタッフがいる教会も、専任牧師が不在の教会も、同じ1票を託されているのです。この1票を皆さんの教会ではどう取り扱おうとされていますか？

わたしたちは、先の臨時総会で協力伝道の象徴の1つであった天城山荘を手放す決断をしました。そのことにより今後一同に会して総会を開催することは難しくなりました。しかしちょうど入れ替わるようにして、すべての加盟教会が協力伝道に関わる主体として、「1つの教会に1つの議決権」という平等に声をあげられる仕組みが整えられました。主の静かな導きと伴いがここに表されているように感じています。

ぜひそれぞれの教会の交わりの中に、「連盟総会の議場」を広げてください。全部の資料に目を通すことが難しくても、「自分の教会にとって大事だ」と思える議案ひとつから、いっしょに取り組んでみてほしいのです。分からないこと、疑問があれば、事前質問や1月7日の議案説明会で、どんどん発言してください。そして皆さんの教会の祈りを込めて「1つの議決権」を行使してください。

わたしたち1人ひとりが、わたしたち1つひとつの教会が、日本バプテスト連盟です。今後の連盟の協力伝道は、この交わりと営みを通して形作られ、育まれ、担われて行きます。「今、共にキリストを証しするために～新たな『自立と協力』」の第1歩をいっしょに踏み出しましょう。

■ 主を賛美するハーモニー

第68回総会副議長
山中臨在 (品川バプテスト教会)



日頃私は聖歌隊の指揮をしています。聖歌隊では、個性豊かな1人ひとりの声が響き合いながら1つのハーモニーが作り上げられていきます。誰1人欠けてもハーモニーは成立しません。機構改革に向けて歩もうとしている今こそ、私たちバプテスト連盟は、1人ひとりの声が尊ばれ、互いに補い合い支え合い、主を賛美する豊かなハーモニーが奏でられなければならないのではないのでしょうか。そのためには「誰か」ではなく「あなた」の存在が必要です。総会がそんなハーモニーの土台となることを祈ります。

■ キリストにあってひとつ。 総会で連帯を！

第68回総会書記
田中信矢 (南光台キリスト教会)



従来の常識や手段が通用せず、将来予測が不能な時代。急速な変化、頻発する災害や疫病は私たちの計画を不確実にしています。世界の多様な価値観や諸課題は様々な要素が絡み合って複雑化しており、曖昧なまま進んでいるかに思えます。しかし、私たちはキリストにあってひとつとされ、教会により確かな希望に招かれているはず。新たな時代の幕開け。総会を通して今こそ共に諸教会と連帯しキリストを証しましょう。

第 68 回定期総会 議案解説

今総会の主要な議案についてお知らせいたします。新機構スタートに向けて、重要な議事を取り扱いますので、教会の意志を総会にお届けいただきたくお願いいたします。

先に第 67 回定期総会（2022.1.20）において「機構改革」案が承認され、新機構が運用できるよう連盟規約・諸規程の整備がなされました。今総会では、新機構による協力伝道に取り組むため、2023 年度から 4 年間の「中期計画」案と 2023 年度活動方針・計画案、同予算案を提案いたします。また、2022 年 9 月末をもって売却した天城山荘の負債精算方法、「伝道者養成の基本理念」改定案などについても上程いたします。

これまで連盟は 10 年単位の中長期大綱を指針にして活動を行ってきました。新機構では、先々の見通しを持ちつつ、諸状況の変化に柔軟に対応できるよう、4 年間の「中期計画」を立て、協力伝道の働きを担っていくこととしました。今「機構改革」では、①各個教会・地域主体の協力伝道、②多様な声が響き合う連盟、③協力伝道献金体制の確立、の 3 点を大方針とし、総会が変わる、理事会が変わる、事務所が変わる、ことを具体化し、新たな協力伝道の展開が生まれていくことを期待しています。今「中期」は新機構を軌道に乗せていく 4 年間です。カラフルな理事会や新たな常設委員会が軌道に乗り、「バプテスト大会」や「ユース大会」の実施、総会参加目標 100%、財政（一般会計）収支バランスの 2026 年度達成などを目指します。

2023 年度の計画案と予算案は、新機構への移行期を踏まえた内容で、引き続き事務所で担う働きを提示しています。新機構においては常設委員会が理事会と事務所と連携しつつ諸計画を実行していきます。各常設委員会は 2023 年度から活動が始まるので、今総会には各常設委員会の計画は提案されていませんが、年度が始まってから各委員会が活動できるよう予算案を策定しています。

また、天城山荘会計の負債を精算するための「精算方法」の提案をいたします。財務諸課題検討委員会の答申に基づいて、回転資金から天城山荘が借り入れている 9600 万円の返済免除（回転資金の基本金の取り崩し）と協力伝道基金会計の設定資金 11612 万円（仮）の取り崩しを行うことにより、精算を行うことを提案いたします。なお、天城山荘に関しては、2022 年 9 月末で売却がなされ事業終了することから、関連規約の改定（条文削除等）も提案します。

「伝道者養成の基本理念」改定も提案いたします。2014 年に理事会承認された現理念は、その後の状況変化を踏まえ大幅な改訂を行います。その重要性を鑑み、総会承認を求めることとしました。改定において「和

解のつとめに仕える」理念は継承しつつ、「信徒一人ひとりが教会を担う主体であり、宣教者である」ことに力点をしています。

すでに「理事選挙」は終わっていますが、理事会推薦人事（常務理事、財務理事、宣教研究所運営委員長）も提案します。

最後に、教会提案として、「全国支援・地域協働プロジェクト」が福井教会（富山小泉町教会と金沢教会が共同申請者）から提案されます。全国の祈りと支援を受けつつ、新たな会堂を建て、地方連合（中部連合）と協働しながら、地域に根ざした宣教プログラムにより、教会復興、自立を目指します。

以上、いずれも重要な議案です。各教会において共有いただき、共に祈り、総会に参加いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

常務理事 中田義直



番号	【議案】〔提出機関、無記載は理事会、※は候補者選考委員会〕
	総会議事録署名人選出〔議長〕
1	連盟出捐不動産処分に関する理事会決議報告承認の件
2	2021 年度活動報告、並びに業務監査報告承認の件
3	2021 年度諸会計決算、並びに会計監査報告承認の件
4	2022 年度国外伝道会計補正予算案に関する件
5	天城山荘事業終了に伴う、会計処理方法の件
6	「教役者退職金会計」及び「協力伝道基金会計」の名称変更、並びに「協力伝道基金会計」の「教役者退職金資金」移動の件
7	協力伝道基金会計 取り崩しの件
8	中期計画（2023～2026 年度）の件
9	これからの伝道者養成基本理念の件
10	2023 年度活動方針、並びに活動計画の件
11	2023 年度諸会計予算の件
12	全国支援・地域協働プロジェクトの件（福井教会プロジェクト）〔福井教会〕
13	日本バプテスト連盟規約の改定の件
14	常務理事選任の件（理事会推薦）
15	財務理事選任の件（理事会推薦）
16	宣教研究所運営委員長選任の件（理事会推薦）
【報告】	
1	総会役員（予算審査委員長）補充選任に関する報告 〔総会役員会〕
2	日本バプテスト連盟規約及び選挙管理運営規程の軽微な修正についての報告
3	2022 年度選挙結果の報告（理事、監事、総会役員） 〔選挙管理委員会〕
4	次期総会（第 69 回定期総会）開催日程、及び場所についての報告